

## 令和3年度 第2回五島市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和3年12月21日(火) 午後3時～3時40分
- 2 場 所 五島市役所3階 第2委員会室
- 3 出席者  
【構成員】 野口市長、村上教育長、坂本教育委員、濱村教育委員、山本教育委員、道下教育委員  
【事務局】 政策企画課長、教育委員会総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、教育委員会総務課総務班係長
- 4 傍聴者 0名
- 5 内 容

### (1) 開会

#### 【事務局】

みなさま、こんにちは。本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ただ今より、令和3年度第2回五島市総合教育会議を開会させていただきます。

この総合教育会議は、市長と教育委員会の協議、調整の場として、法律により設けられておりますので、有意義な会議になればと思っております。

それでは、次第に沿って進めさせていただきますが、開会にあたりまして、市長のあいさつをお願いいたします。

### (2) 市長挨拶

#### 【野口市長】

みなさん、こんにちは。本来であればこの会議は11月に開催するということで検討しておりましたが、コロナが落ち着きを見せているような行事が11月から復活をしまして私や教育長も含めてなかなか時間がとれずに今日に至ってしまったということで申し訳ありませんでした。11月というのは来年度の予算に向けて反映させるという意味では良い時期でありますので、来年度は11月に戻したいと思っております。よろしくをお願いいたします。

この総合教育会議でございますけれども、平成27年から設けられておりまして、それまで首長というのは教育行政に口を出さなくなっておりました。基本的には学校現場含めて教育長にお任せをするという形で来ていたんですが、なかなか社会情勢が厳しくなってきました学校環境も子どもたちを取り巻く環境も厳しくなる中でやはり首長との連携というものをしっかりしていく必要があるのではないかということで設置をされたということでございます。議会に対しては予算とかは教育委員会に属しますが、首長の責任のもとに対応しなければならないということでございます。

今日ご審議いただくのは小中学校における規模の適正化についてということで、実は中身は非常に重く地域にとっては大きな課題でもありますので、各委員さんから忌憚のないご意見を頂戴いただければと思います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

### (3) 協議

#### 【野口市長】

それでは早速協議に入りたいと思います。「小中学校における規模の適正配置について」事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局】

(資料により説明)

#### 【野口市長】

ただ今説明があったとおりでございますが、小学校については、複式学級が2学級以上で1学年の平均が8名ということですから、48人を切ると検討の対象としていくことになるかと思えます。また、中学校では、1学年の平均が9名となっていますから27名を下回ると検討の対象になりますということでございます。これまで旧福江地区以外の岐宿、玉之浦、三井楽で統廃合を進めてまいりました。その前には椛島の中学校が最後は1名だったのですが、その子の卒業とともに休校にしたあと廃校にしたという経緯がございます。私が市長になって7回、閉校式に出ました。先輩方も集まっての会合になるんですが、やはり子どもたちの教育環境を考えた時に果たして今の規模で存続することが子どもたちのためにいいことなのかということについてやはり疑問がございます。そして、小規模であっても学校が存続すればそれなりの予算も必要になってまいります。そういったことを考えまして、まずは統廃合を前提としてアンケートを採ってどういう意見があるかということをしつかり見たうえで、最終的には保護者のみなさんのあるいは地域の方のご理解をいただくという中で統廃合を進めていきたいと思いますが、その一歩目となるアンケートを来年の1月以降保護者あるいは子どもさんたちも含めて地域の方にもお願いしようと思っております。今まで富江そして福江地区は手をつけてこなかったんですが、人口が減ってなかなか子どもたちが生まれない、いま五島全体では赤ちゃんの誕生が年間200名を切っておりまして、改善する見込みがなかなか立たず厳しい状況であります。仕方のないことなのかと考えております。そういうことでみなさん方にご意見をお伺いしたいと思います。

#### 【教育長】

私の方から少し報告をさせていただきます。このアンケート実施につきましては、対象となる6校の校長先生には話をしてきました。1月14日に定例校長会を実施予定ですので、その時に全ての校長にお話しをしまして、この日から公開をしてアンケートを実施するということが広がっていくのかなと思っております。本日までに議会の議員さんにはこういう形でアンケートをさせてほしいということでご了解をいただいております。

#### 【野口市長】

市議会の方にはまだ取扱い注意ということでお話をさせていただきます。

それでは坂本委員からご意見をお伺いいたします。

#### 【坂本委員】

議題を見まして、ここまで来たのかという思いがしております。できればこの場に来たくない

という気持ちもありました。ただ、教育委員という立場で五島市全体を考えた時に、いま説明のとおり進めていくべきだと思いますけれども、そういう中でアンケートは絶対に必要だと思います。現在の児童生徒の保護者、またこれから学校に入って来る就学前の子供の保護者、それから地域住民の声、そこらへんを踏まえたうえで進めていくべきではないかと思います。アンケートを採ることには私は賛成です。どういう結果が出るかは分かりませんが、地域にとって学校は地域の灯台なんですから久賀で言えば久賀小中学校は島の灯台とっておりますので、どういう結果が出るか非常に不安ですが、そういうアンケートを基に進めていただきたいと思います。

それから小中併設というようなこともアンケートの中には出てくるのではないかなという気もしております。そのへんにも対応できるような進め方を考えておくべきではないかと思います。

**【野口市長】**

小中併設は二次離島ではやらせていただいております、福江島内では玉之浦がやっております。これに関しては改めて考えていきたいと思っております。

それでは次に濱村委員さんお願いします。

**【濱村委員】**

私も坂本委員と全く同じ意見で、私の長男と四男は8歳離れていますが、長男の時に三井楽中学校は1学年3クラスか2クラスと言っていたんですが、四男の時には1学年20人を切ってしまうました。たった8年の間にこんなに減るもんなんだとすごく驚いていました。何百人いたのがみるみる何十人になり、いま資料を見たら60人になっていて、この人口減のスピードの速さにただ愕然としています。私もアンケートというのは、みんなが納得したうえで方法とか検討した方がいいと思います。

私は大宝中学校があった時代に、併設という形で卒業しました。やはり自分が行っていた学校がなくなる、そこに卒業した学校がないというのは寂しいものです。それでもやはり教育をしていくうえでとか統合が必要なんだよというのを納得したうえで進めていくようなアンケートの仕方を考えていただければと思います。

**【野口市長】**

ありがとうございます。次に山本委員さんお願いします。

**【山本委員】**

先輩委員さんたちがおっしゃったようにアンケートの内容によりどのような形をとるのかというのが一番じゃないかと思います。私も教育委員会にいた時に、富江町の分校の廃校に携わりましたが、やはり地域の人たちの思いというのは、子どもたちがいなくなると地域から火が消えてしまうというのが目に見えて、子どもたちの声が地域を支えているというのを実感してきました。まして、富江高校が閉校になった時も、私も卒業生ですのでむなしい思いがしました。子どもたちの教育のためには必要だとは思っていますし、今後の地域づくりのためにも必要だと分かっております。全員が納得することはないと思いますが、より良い方向に進めていくような形をとっていただければと思います。

**【野口市長】**

ありがとうございます。

次に道下委員さんお願いします。

### 【道下委員】

私も統合には賛成です。やはり小さい学校より大きな学校の方がいいと思います。小学校、中学校、高校というのは大人になるための練習をするというかいろんな経験をして、その時に大勢の中でもまれていないとやはり自立をするためには、児童生徒が少なすぎると後が大変なのかなと思います。子どもの未来のことを考えると複式学級とかの問題もありますし、統合できるのであれば統合した方がいいと思います。

### 【野口市長】

ありがとうございます。

基本方針の中に同区内の小学校中学校を統廃合する場合は中学校を先か又は同時に行うことというのがありますが、崎山地区と奥浦地区については小中同時というのは地域にとってはつらい部分がありますので、まずは中学校をやってその後に小学校をと、そういったことを考える必要があると思っておりますが、小中学校というのを考えた場合に奥浦、崎山で小中学校として残す必要があるかどうかということもあります。

### 【坂本委員】

メリット、デメリットがあると思いますけれども、体育科の授業ですと球技は集団でないとできません。それから音楽は、合唱や合奏などそういうものはできない。道徳なんかは多様な考えに触れさせるという意味では集団でないと効果が上がらない。ただ、一番あるのは子たちの部活動が制限されるということなんですよ。そこが選択肢がない、これをやるしかない子どもたちには可哀想な面もあります。

### 【野口市長】

小中学校に変えてもやはり複式学級やそういったことが全然解決しないんですね。できれば近くの小学校への統合というのを考えたいと思っております。

奥浦中学校と崎山中学校の免許外教科指導というのがどれくらいあるか分かりますか。免許外の意味も含めて教えていただければと思います。

### 【事務局】

まず一点目の奥浦中学校、崎山中学校の校内免許外指導についてですが、奥浦中学校が家庭科の1教科のみ、崎山中学校は免許外指導はありません。

免許外というのは、例えば数学の先生が国語を指導するように、自分の専門教科以外の教科を指導する形で授業をすることを校内免許外指導と呼んでおります。学校規模としては同じくらいなんですが、なぜこのような現象が起きているかというと、県の教育委員会ではこの免許外で授業を持たないでいいように2つの取組を行っております。1点目が他校におられる先生を週に1回派遣をしてもらう。例えば福江中学校にいる家庭科の先生を奥浦中学校に週に1回だけ来ていただいて授業をしていただくという形をとるのが1点と、もう1点がどの学校にも属さない先生が免許外解消非常勤という形でその教科だけを教えに複数校に行くというシステムがあります。ただ、この免許外解消非常勤の先生は、技能教科の先生が今不足しているんですが、例えば音楽、美術、技術、家庭科の先生が不足しているんですが、この免許外解消非常勤をしていただく先生が現在のところ1名しかいないという状況で、どうしてもそういった専門の先生を中学校に派遣をできないという状況が生じておりますので、こういった校内免許外というのは現在発生しているところでございます。

**【教育長】**

崎山中の新任の先生が、非常に珍しいんですけども、理科の免許と技術をたまたま持っておりまして、それで崎山中はいなくなったというのがあります。

**【坂本委員】**

久賀の場合小さい学校ですけど、いま学校教育課の課長が言ったように免外解消教員の派遣をしてもらってるから、久賀で免外というのは技術科だけですね。

**【事務局】**

久賀の校内免外は技術と家庭科の2教科になっております。

**【坂本委員】**

昔は免外がほとんどでしたけれども、私が平戸の南部中に教頭で行った時は、理科と国語の免外を持ったんですが、きつかったです。

**【教育長】**

私も理科と英語を持っていました。

**【野口市長】**

中学校の場合には、崎山中学校の野球部ですが子どもたちが野球をしたくてもできないということで、いま崎山中ではどの部活動があるんですか。

**【教育長】**

男子はバスケットと剣道、女子はテニスと剣道があります。

**【野口市長】**

その話を聞いてびっくりしていたら、今度は、五島高校と海陽高校で高校野球は1チームということで、多分もう単独ではチームができていない、今だけかは分かりませんが。

**【坂本委員】**

子どもたちにとって部活動というのは勉強より大事にしている子どももいますから。

**【野口市長】**

アンケートですが、先ほど話がありました幼稚園・保育園の小学校予備軍ですが、この子たちが一番関係があると思いますが、そのへんのアンケートは考えていますか。

**【事務局】**

今のところは予定には入れておりませんでした、そのへんもカバーできるように考えていきたいと思えます。

**【野口市長】**

以前、岐宿とかをやった時はどうだったんですか。

**【事務局】**

以前の資料を見ますと、玉之浦で行った実績があるんですが、その他の浜窄とか岐宿の方ではアンケートの実績が見つけられませんでした。

**【教育長】**

実はこういうことも少し言われたんですけども、だいたい2月の最初に小学校は来年度の入学者説明会を開くのでそこまで待ってもらえばアンケートできますということを経理から言われたんですが、その学年だけで何人かという形でどうかとも思ったんですが、いま市長から言われたように大事なことだろうと思っております。そういう貴重な0歳から5歳までの親の意見も

どうにかして聞きたいと思います。ただ、そのやり方として保育園に持って行ってこれをお願いしますというのではできないと思います。崎山保育園にはいろんな所から来ておりますので、崎山の子にアンケートができるように今後まだ少し時間がありますので、社会福祉課と相談しながら進めていきたいと思っています。

**【野口市長】**

今までの感じではある程度保護者の方からは理解はいただけるとは思いますけれども、地域の方がやはり学校が地元からなくなることについてご意見が多かったりするんですけども。

**【教育長】**

昨日テレビを見ていましたら鑑瀬公園で地域の方が崎山小学校の子どもを集めてぼっぱ汁を食べさせるというのをやっています、いいなあと思って見ていましたが統合するとういうのもなくなるのかなと思いました。それから今日書類を見ていましたら福小、緑小から奥浦小学校や本山小学校を希望して校区外通学をするという子も結構おまして、こういう子どもたちはどこに行くのかなということも考えましたし、あと最近増えているのが玉之浦あたりには移住者も増えてきております。そういうことでいろいろな障害も出てくるだろうなということは感じているところです。

私には今二つの顔があるんですけども、一つは崎山住民の顔で話をしますと、私は崎山中学校から野球部をなくした校長です。その時に思ったのが、これで崎山から高校球児はもうしばらく出てこないなというふうなことを感じました。それがプラスにはなるんだろうなと、しかし地域から学校がなくなるというのを考えるとやはり寂しい面もあります。お前は学校を潰すために教育長になったのかと先輩たちからお叱りを受けることも覚悟しております。ただ、今度は教育長の立場として先ほどから出ていますように子どもの将来のために果たしてどちらがいいのかということを考えて私としては決断をしていきたいと考えているところです。最終的な決断は市長がするんでしょうけれども、私としての覚悟も決めていかなければならないと思います。

併設についても坂本委員からあったように、一つの意見だろうと思っていますけれども、財政的な面では半分程度になるのではなかろうかと思っていますが、実際小学校での複式学級、中学校での自由な部活動選択というマイナス面を考えると、やはり複式よりも大きな学校と統合した方がいいんじゃないかなろうかと私は思っております。

**【坂本委員】**

私は併設にした方がいいという考えではなくて、そういった意見も出てくるのではないかと、それに対応したことも考えていくべきではないかということをおっしゃただけです。

一つ教育長に質問してよろしいでしょうか。平成5年から今年までに、長崎県の人口が約16万6千か7千人減っているという記事を新聞で見ました。これは五島だけの問題ではないと思いますので、他の市町村の適正規模適正配置に関する情報交換とか教育長がつかんでいけば教えていただきたいと思っています。

**【教育長】**

実は、久しぶりにコロナが落ち着いて県内13市の都市教育長会議がありました。その中で統合問題が出されましたが全ての市で統合問題を抱えているようです。長崎市や佐世保市のような大きな市であっても、もう1クラスではダメなんだと要するにせめて1学年2クラス、3クラスにするための統合を考えている。もっと小さいところでは複式の解消のために統合を考えている。

私たち五島や壱岐、対馬などは、極小規模校でほんとに集団として成り立たない学校があるからそこを統合しようという形で、それぞれに統合の意味は違いますけれども、やはりある程度の集団があった方がいいということで、県内全て検討をしているようです。

**【野口市長】**

長崎の統廃合のニュースなんかを見るともっと規模は大きいですもんね。こんな規模で統合をするのというような学校も統廃合をやっております。我々ももう少しペースを上げて見直しをしてこのように複式になる前に手を打つべきという考え方もあると思いますけれども、資料にあるように平成26年以降だけでも6つの学校を統合してございまして、なかなか学校を統廃合するというのは手間をかけて地元にも丁寧に説明をしていかなければなりませんので、時間がかかります。そういった中で今回こういった話をしたということでございます。貴重なご意見をいただきありがとうございます。アンケートについては、1月以降やらせていただくということでこれまで考えていなかった小学校に入学する前の小さなお子さんを抱えている保護者の方の意見も聞くためにアンケートを実施していただきたいということでお願いをしたいと思います。

他にアンケートに関してご意見はありませんか。

**【全員】**

ありません。

**【野口市長】**

まだ、実際にアンケートをするまでには時間もありますので、もしお気づきの事がありましたら教育委員会の方にお知らせしていただければと思います。

それでは以上で、協議題については終了したいと思います。

(4) その他

**【野口市長】**

次に、その他となっていますが、教育委員の皆様から他に協議したい内容などございませんか。

**【全員】**

ありません。

(5) 次回開催について

**【野口市長】**

それでは次回開催について事務局からお願いします。

**【事務局】**

総合教育会議の開催については、定例的な会議を年に2回程度を予定しておりますので、今年度の定例的な会議としましては、本日の会議で終了したいと考えております。よって、次回開催は来年7月頃を予定しております。しかし、今後、市長や教育委員会から協議・意見交換したい内容がございましたら、事務局までご連絡いただければ会議の調整を行いたいと思います。また、緊急的に開催する必要が生じた場合には、事務局より皆様へご連絡したいと考えております。

**【野口市長】**

お知らせですけれども、本日午前中に市議会がありまして、子育て世帯、高校生以下の子どもさんをお持ちの方について、一人10万円の給付金を12月24日に一括して振り込むというこ

とで予算を認めていただきました。ただ、小学生・中学生の児童手当をもらっている家庭については、高校生の分も一緒にお支払いできますけれども、高校生だけの世帯については、振込先などの申込を受けるようになっていきますので、その方々は年明けになるかもしれません。そういった高校生の8割も含めて12月24日に振込をすることになりましたのでお知らせをしておきます。

それでは、総合教育会議の開催は、年に2回程度を目安としているようですので、今年度の定例的な会議としましては、本日の会議をもって終了したいと思います。ただし、今後教育委員会から協議、意見交換したい内容がございましたら、調整をして臨時的な会議として開催いたしますので事務局まで伝えていただければと思います。

(6) 閉会

【野口市長】

それではこれもちまして、第2回総合教育会議を終了したいと思います。ありがとうございました。